



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004



『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

9月生乳生産量前年同月比4.1%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、9月の生乳生産量は61万3,294トンと前年同月を4.1%上回ったと発表した。地域別には、北海道は35万1,830トン(前年同月比4.2%増)、都府県は26万1,464トン(同4.0%増)といずれも前年同月を上回った。

用途別生乳処理量を仕向け先別に見ると、牛乳等向けが34万5,288トン(前年同月比2.7%減)と4カ月連続で前年同月を下回った。学校給食用向けが、一部自治体における小中学校の夏休み延長や臨時休校などにより、前年度を下回った。乳製品向けは26万3,849トン(同14.6%増)と4カ月連続で前年同月を上回った。うち脱脂粉乳・バター等向けは12万3,742トン(同27.2%増)と4カ月連続で前年同月を上回った。また、クリーム向けは5万9,083トン(同8.3%増)と7カ月連続で前年同月を上回った。前年に出された1回目の緊急事態宣言の際の仕向け量急減の反動などにより前年を上回って推移しているとみられている。

北海道生乳移出量減少傾向 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、9月の生乳の道外移出量は、5万6,787トン(前年同月比11.6%減)と、前年をかなり大きく下回ったことを発表した。この減少は6月から継続しており、生乳の牛乳等向け処理量も同様に6月から前年同月を下回っている。三大都市圏などへ緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が長期にわたって適用されてい

たことや、天候不順によって飲用需要が落ち込んだことなどが影響したものとみられている。

これに伴い北海道の生乳はバターや脱脂粉乳に多く仕向けられている。直近の在庫量は、バターが前年同月比8.0%増の4万1,684トン、脱脂粉乳は同9.7%増の8万9,908トンとなっている。

NZ・豪州の乳価5～8%上げ

ニュージーランド(NZ)最大の乳業会社フォンテラは、同社が生乳を集荷するNZとオーストラリア(豪州)の両国で、悪天候で生乳生産が落ち込んでいるのに対し、国内外の乳製品需要が堅調に推移していることを受けて、支払い乳価を約5～8%引き上げたことを発表した。

新乳価は、NZは中間値で、乳固形分1キログラム当たりが従来の8.00ドル(約640円)から約5.0%高い8.40ドル(約672円)となった。豪州は以前の6.55豪ドル(約545円)から8.4%高い7.10豪ドル(約591円)となった。

NZ・豪州ともに雨量の増加や低温などにより乳量が低迷しており、加えて豪州は乳牛頭数の減少や労働力不足なども生産に悪影響を及ぼしているとみられている。フォンテラ社は、NZ・豪州産共に国内外から乳製品への需要は継続しているが、生乳生産の伸び悩んでいるため供給が追い付いていないとしている。飼料価格高騰の影響で米国の乳量が減少するなど、世界的にみても生乳供給量は予想を下回っている状況としている。

飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所 担当

生乳取引価格は上昇傾向で推移 EU

欧州委員会は、9月のEUの平均生乳取引価格(推定値)は、100キログラム当たり36.76ユーロ(4,926円)と前年同月比8.1%高となったと発表した。乳製品価格が好調に推移していることから、生乳価格も例年の季節傾向とは異なり、夏場に下落することなく、高い水準で推移している。今後、中国からの需要の減速が見込まれる中で、第4四半期の生乳出荷量が前年同期よりも増える見込まれていることから、生乳出荷量が減少する冬場にかけての同価格の上昇は限定的な動きになるとみられている。

9月牛肉生産量前年同月比1.5%減 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、9月の牛肉生産量は、2万6,717トン(前年同月比1.5%減)と前年同月をわずかに下回ったことを発表した。品種別には、和牛は1万2,390トン(同2.4%減)、乳用種は7,275トン(同2.1%減)と、ともに前年同月をわずかに下回った。一方で、交雑種は6,605トン(同1.1%増)と前年同月をわずかに上回

った。

過去5カ年の9月の平均生産量との比較では、1.7%増とわずかに上回る結果となった。

9月牛肉輸入量前年同月14.3%増 ALIC

独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)は、9月の牛肉輸入量は、5万566トン(前年同月比14.3%増)と、前年同月をかなり大きく上回ったと発表した。このうち冷蔵品は、前年同月の輸入量が北米工場の作業効率の低下およびオーストラリア(豪州)の干ばつ後の牛群再構築による生産量減少に伴う現地価格の高騰などが影響したことにより少なかったことなどから、2万4,377トン(同33.3%増)と前年同月を大幅に上回った。冷凍品は、米国産および豪州産の現地価格の高騰などによる輸入量の減少分を他国産の冷凍品で補う動きがあったことから、2万6,164トン(同0.8%増)と前年同月をわずかに上回った。

過去5カ年の9月の平均輸入量との比較では、冷蔵品は16.2%増と大幅に上回った一方、冷凍品は9.8%減とかなりの程度下回る結果となった。

J-オイルミルズ ファイバーフィード 乳用牛・肉用牛飼育用配合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮はNDF含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いため消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードはJ-オイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。



成分	原物中	乾物中
粗たん白質	14.0%前後	16.0%前後
粗脂肪	3.0%前後	3.4%前後
粗繊維	23.0%前後	26.4%前後
粗灰分	7.0%前後	8.0%前後
カルシウム	0.40%前後	0.40%前後
りん	0.15%前後	0.17%前後
TDN	65.0%前後	74.7%前後